

# 葛野だより

## 特別号

京都市立葛野小学校  
令和8年3月2日  
校長 笹岡 法道

〒615-0882  
京都市右京区西京極葛野町2  
TEL:075-311-3510  
FAX:075-311-3557



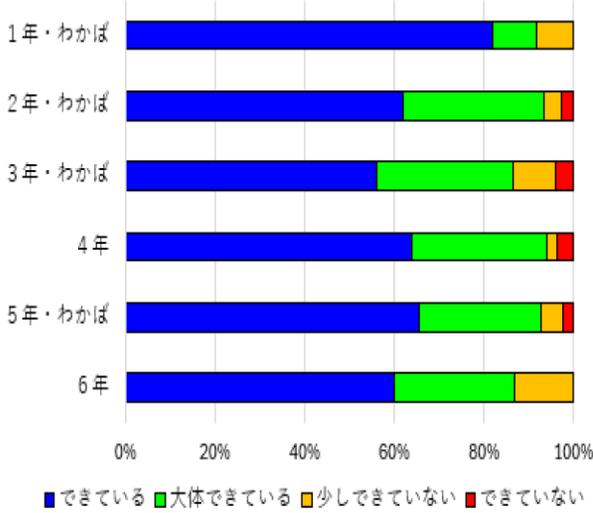
学校 HP へは  
こちらから

令和7年度後期学校評価の結果を分析・検討し、「今後の展望」としてまとめさせていただきました。アンケートへのご協力ありがとうございました。ぜひ、ご一読いただき、今後の取組にご理解・ご支援いただきますようお願いいたします。今後も、「子どもが明日の登校を待ち望む学校」となるようさらに取り組んでいきたいと思っております。

### 『子どもたちが明日の登校を楽しみにする学校』にむけて

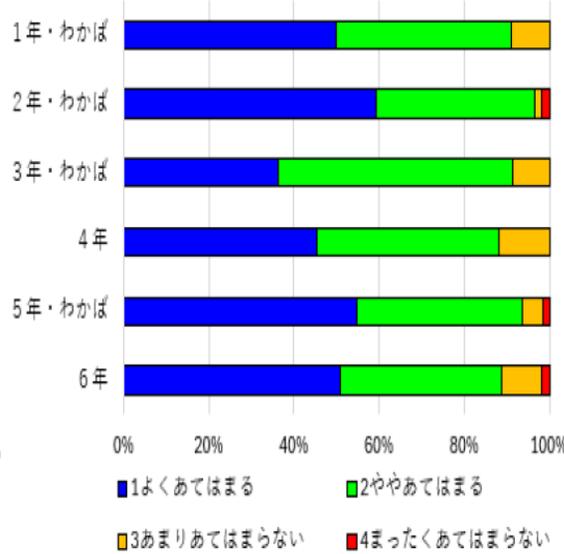
#### 【児童アンケート結果】

○毎日、楽しく学校に通っている。



#### 【保護者アンケート結果】

○楽しく学校に通っている。



アンケートの結果をもとに、学習指導や生活指導に生かしていきたいと考えております。紙面の都合上、アンケートの集計結果をすべて掲載することができません。葛野小学校のホームページでは、全ての項目を掲載しておりますのでご覧ください。

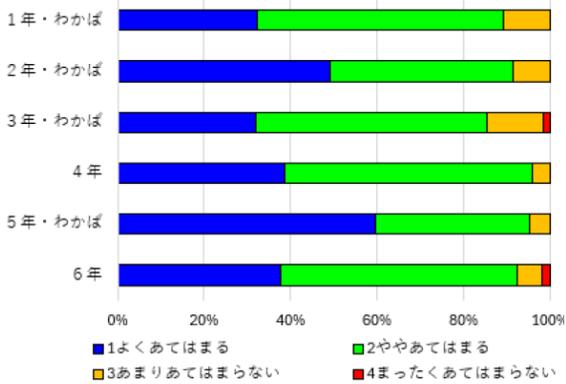
前期と変わらず、児童・保護者共に「毎日、楽しく学校に通っている」という回答が80%から90%以上を占める割合となっていました。

スポーツフェスティバルやミュージックフェスティバルなど大きな行事を通して子どもたち一人ひとりが成長し、自信をもつ姿が見られました。また、友達同士や担任とのつながりも深まっているようです。それが数値にも表れているのだと感じています。

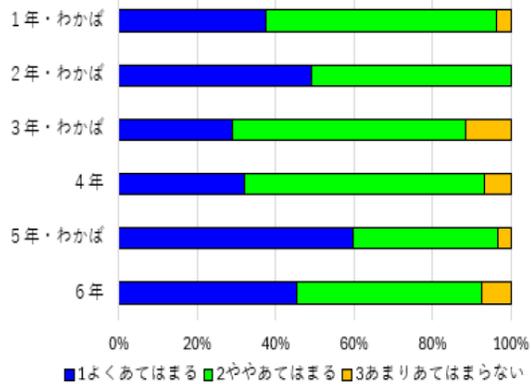
反面、「少しできていない」「できていない」の回答も前期に続き、一定数ある現状に対して、どのような教育活動を実施できるのか、さらに考えていく必要があると考えています。

### 『子ども理解』・『授業』【保護者】『学習に向かう力』【児童】

○先生は子どもをよく理解し、真剣に対応している。

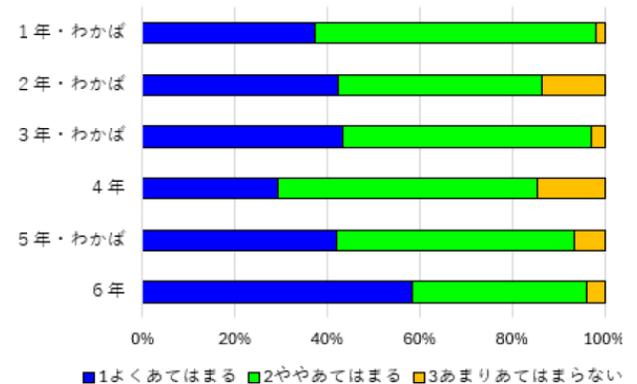


○先生はわかりやすい授業を工夫している。



### 保護者・地域との連携について

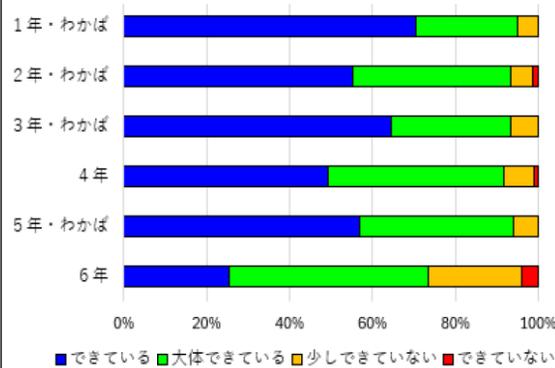
○学校の様子を、HPや学校だより、学年だより等でよく知らせている。



◆「子どもを理解し、真剣に対応している」についてどの学年も「よくあてはまる」「ややあてはまる」の回答が90%に近い数値となりました。しかし、前期と同様に、「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」の回答もあります。今後も一人ひとりの児童の声にしっかりと耳を傾けていきたいと思っております。

◆「わかりやすい授業を工夫している」について、どの学年でも90%以上で「よくあてはまる」「ややあてはまる」の回答となりました。どの授業においても対話を重視し、対話から考えを深めたり、広めたりする授業に力を入れています。また、2学期より2ndGIGAの導入もありました。これらの有効な活用も今まで以上に研究し、子どもたちに分かる授業を提供できるようにしていきたいと思っております。

○授業中は自分の力をだしている



◆「授業中は自分の力をだしている」という項目では学年によつての差はありますが、前期と同様に高い数値となりました。さらに力をだしきれるような授業を構築できるよう教員の授業力向上を目指していきたいと思っております。

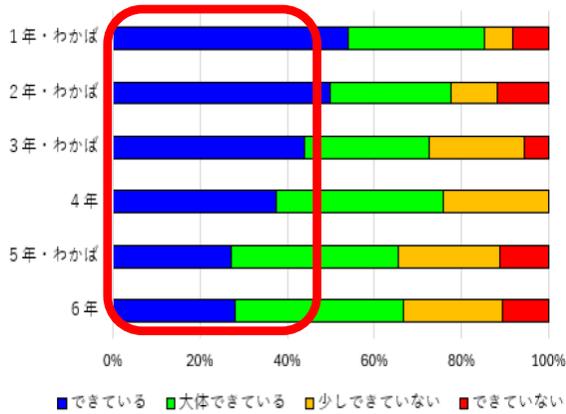
「学校の様子を、HPや学校だより、学年だより等でよく知らせている」については、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の結果は前期とほぼ同じになりました。しかし、「あまりあてはまらない」の数値が若干増えています。引き続き、ホームページで学年の様子を随時アップし、児童の様子や学年の取組を保護者の方をはじめ地域の皆様など多くの方に知っていただけるように努めていきたいと思っております。

「すぐる」で配信させていただいております「葛野だより(学校だより)、学年・学級だより」等のお便りもご覧ください。よろしくお祈りいたします。

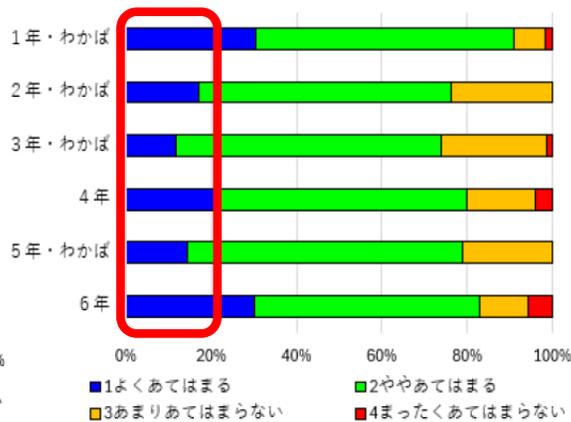


## 家庭学習の習慣化について（左：児童 右：保護者）

○家で勉強は、学年×15分できている。



○家庭学習の習慣が身についた。

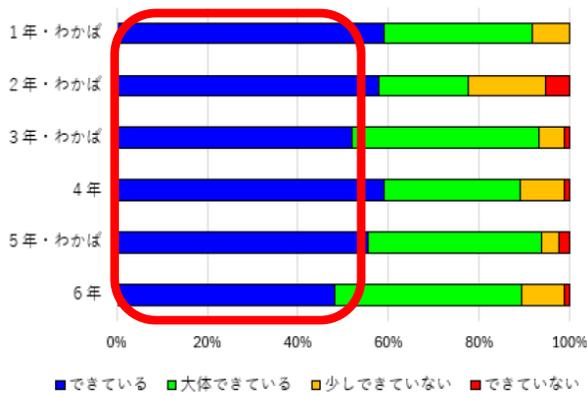


家庭学習については、学年×15分を目安としています。学年が上がるにつれて時間も長くなります。アンケートの結果では、児童と保護者で認識の差が大きいことがわかりました。もちろん、時間を達成することが一番の目的ではありません。大切なことは、家庭学習を通して「自分に必要なことを自ら学ぶ力」「自分の興味があることを追求する力」をつけることだと考えています。日々の基礎基本の定着につながる宿題とともに、自主学習を通して、自分で考え学ぶ力を培ってほしいと思っています。また、粘り強く課題に取り組む姿勢や継続して取り組む習慣を身に付けてほしいと思っています。計算ドリルや漢字ドリルの反復をしたり、持ち帰りをしている GIGA 端末を有効的に使ったりできるように宿題の出し方も検討していきたいと考えています。

## 生活習慣について

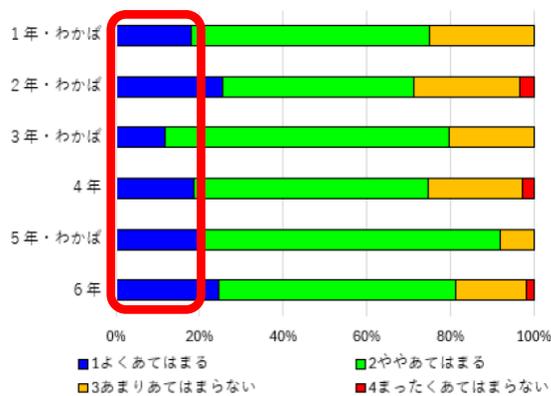
【児童アンケート結果】

○すすんであいさつしている。



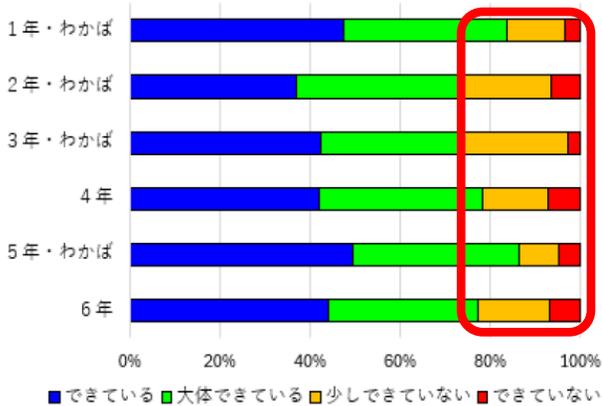
【保護者アンケート結果】

○進んであいさつできるようになった。

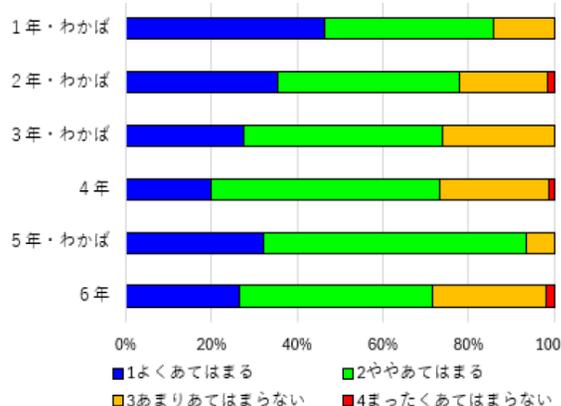


◆「進んであいさつできるようになった」は前期同様、児童と保護者の「よくあてはまる」の回答に差が出ています。児童の「あいさつができていない」基準と保護者の「あいさつができていない」の基準に違いがあることも考えられます。児童は、あいさつをすれば「よくできている」と理解しているかもしれません。しかし、保護者や教職員はこちらが先にあいさつをして返してもらっただけでなく、「自分からあいさつできる子」に育てしてほしい。そんな願いがあるのではと感じています。そのためには相手の目をしっかりと見て、大きな声で、自分からできることを目標にし、伝えていきたいと思っています。また、教職員がしっかりと見本を見せていきたいと思っています。

○早寝早起きできている。



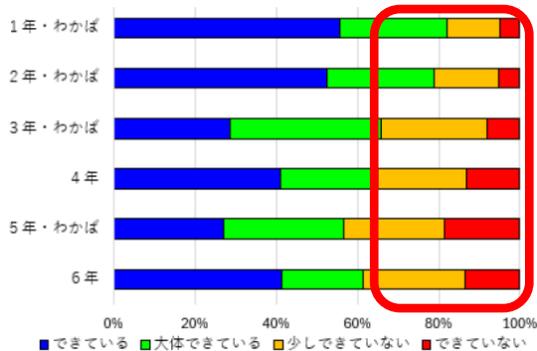
○子どもに早寝早起きさせている。



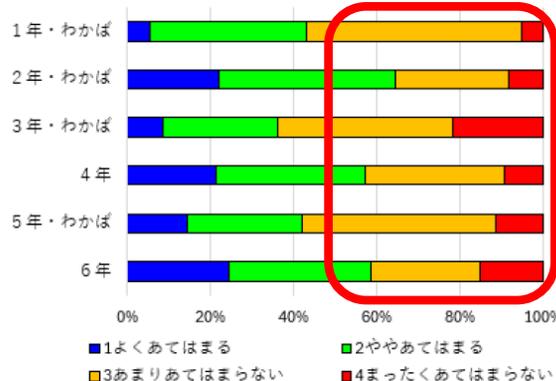
◆早寝早起きについては、全学年として「できていない」「少しできていない」という回答が目立ちました。十分な睡眠時間は児童の成長に欠かせないものです。児童からは「遅くまでスマホをさわっている」「遅くまでゲームをしていた」という声も聞きます。心身の成長に欠かせない「睡眠」について、その大切さを学校でも伝えていきたいと思っています。また、宿題や次の日の学習の準備を早く終わらせて、睡眠時間を確保することの大切さも伝えていきたいと思っています。ご家庭でも引き続きご協力いただければと思います。どうぞよろしくお願い致します。

## 読書の習慣化（左：児童 右：保護者）

○本をよく読んでいる。



○読書をするようになった。



## 葛野きずなの会の皆様より

「周りの人のことを考えたり、困っている友達に声をかけたりする児童の姿が見られるようになってきている。学校教育目標の『人を大切に』という言葉を意識しているように感じられる。また、自主学習の取組は子どもの主体的な学びにつながっている。一方で、進んであいさつをすることについてはまだまだ課題がある。あいさつは人と人をつなぐものであり、子どもたちが社会に出て困らないように、周りの大人が見本となるようなあいさつを心がけていくことが大切になってくる。そして、家庭学習の ICT 活用については、メリットとデメリットもあるため、目的や状況によって使い方を考えていくことで、さらに効果的に使用できるのではないかと。学校と地域、保護者が協力して子どもたちを見守っていきたくさらによりよい学校になるのではないかと。」等ご意見いただきました。貴重なご意見を今後に生かしていきたいと思っています。お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

「本をよく読んでいる」という項目については、全項目中で児童も保護者も「まったくあてはまらない」「あまりあてはまらない」の回答が一番多い結果となりました。毎朝、朝読書の時間を設定し、その時間での読書は定着していますが、それ以外でどれだけ読書をしているかが回答に表れているかと思えます。タブレットやスマホを用いて映像を見る時間が増えている結果でもあるかもしれません。映像からたくさんの情報を取り入れることも大切なことですが、読書によって読解力・想像力・世界観の広がりなどが培われるとも言われています。今後とも学校図書館を充実させたり、読書の良さや大切さを伝えたりしていきたいと思っています。

年間 2 回の「学校評価アンケート」にお忙しい中、回答をいただきありがとうございました。アンケート結果によって学校の取組の成果がどうであるか、ふり返り、見直すことができる良い機会となっています。1年間、学校教育へのご理解・ご協力、誠にありがとうございました。